



# ねっとわーく近畿

第38号  
2008.7.10  
～編集・発行～  
近畿公立小中学校事務職員研究会  
会長 井口尚之  
所在地 紀の川市立川原小学校  
和歌山県紀の川市野上126  
0736-73-3330  
<http://www15.ocn.ne.jp/~kinjiken/>



近畿公立小中学校事務職員研究会  
会長 井口尚之



今年、日本の北海道・洞爺湖でサミットが行われます。京都議定書で世界にアピールした、地球温暖化阻止の具体案が、議論されると聞いています。また、中国・北京ではオリンピックが開催されます。オーストラリアの干ばつ、ミャンマーのサイクロン被害、中国・四川の大地震、アメリカの洪水被害と、天災が続き、どれも地球温暖化の結果と一言では片づけられない自然の猛威に、人間の力の弱さを感じさせられます。是非、サミットでは、人類の未来のために、オリンピックでは、希望のわく明るい話題がたくさん聞けるといいなと、期待したいものです。

さて、日本の教育の世界に目を向けてみますと、平成18年度に教育基本法が改正され、平成20年4月1日には、学校教育法・地方教育行政の組織及び運営に関する法律・教育職員免許法及び教育公務員特例法、いわゆる教育3法の一部改正が（一部を除き）施行され、学校組織の運営と指導体制にとって大きな変革がなされています。私たち学校事務職員には、教員の質の向上と子どもと向き合う時間を大幅に増やすために、学校事務職員の有効活用と事務の共同実施の推進が言われています。第七次定数改善計画での加配をを活用し、共同実施・教員の事務負担軽減を目指せる一方で、IT化や外部委託も同時に言われておりま

す。学校事務の共同実施は、学校への権限委譲とともに、学校事務職員が学校でなくてはならない職員であること、存在をアピールすることも同時に考えて行く必要があると考えます。また、平成21年4月1日には、新学習指導要領の移行措置が開始され、平成23年には小学校、平成24年には中学校で全面実施が予定されています。「生きる力」という理念を継承し、「生きる力」を支える「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」、いわゆる知・徳・体をバランスよく育てることが重視されています。激しく変化する時代に、日本の将来を担う子ども達に、確かな学力をつけ、豊かに育つ学校環境をどう作り上げるかが、私たちにとって重要な仕事となるでしょう。

近事研では、第40回全国公立小中学校事務研究大会では、調査研究部が分科会発表に向けて、子どもグループ（子どもとの関わりについて仕事と関連づけた実践を進める）とナビグループ（スクールガイド作成を活動の柱とする）に分かれ、取り組んできました。第9回近畿地区公立小中学校事務研究大会に向けては、実行委員会で大大会準備が進めてきました。どちらも、私たち近畿の学校事務職員にとって、力盡を示す場であり、力盡を高めることのできる大会だと思えます。多くの方に参加していただき、ご協力いただきたく思います。

9月からは新しい役員・新体制に変わりますが、取り組みが継承され発展させることにより、学校事務職員の未来展望と資質の向上に役立ち、より強固な研究会になるよう、会員の皆さんのますますのご支援とご協力をお願いいたします。

## 第9回近畿地区公立小中学校事務研究大会

期 日 平成20年8月22日（金）  
会 場 和歌山市民会館  
和歌山市伝法橋南ノ丁7番地  
Tel073(432)1212

### 午前の部

講 演「学校教育の変容と学校事務職の展望  
—専門協働者としての方向性—（仮題）」  
講 師 山下 晃一 氏  
神戸大学発達科学部 准教授  
会場 大ホール

### 午後の部

分科会  
【第1分科会】  
提案発表：大阪府公立学校事務研究会

学校事務の組織化から学校改革へ  
～SSO（学校支援事務所）発展構想～  
会場 大ホール

### 【第2分科会】

提案発表：京都市立学校事務研究会

提案型の学校事務職員を目指して  
～事務職員からの提案～  
会場 小ホール

### 【第3分科会】

提案発表：神戸市立小中学校事務職員研究会

見えない不安を見える自信に  
～学校の中での常識  
既成概念を今一度見つめ直してみよう～  
会場 市民ホール



## 単位研究会の事業計画



### 滋賀県公立小中学校事務職員研究協議会

滋賀県公立小中学校事務職員研究協議会（以下、滋事研）は、様々な場面を通じて、「創造しよう！教育を活かす学校事務を」のテーマに迫る様々な取り組みを考えています。

特に、「共同実施」については会員に意義や目的をさらに定着させ、「共同実施」の取り組みを研究会活動のメインに考えています。研究部では、滋賀県における「共同実施」導入への条件整備や現状における課題についての考察と事務職員の職務について検証し、「共同実施モデルプラン 滋賀県バージョン」作成にむけて研究をすすめていきます。研修部では、学校事務に関する課題や事務職員の資質向上をめざした研修講座を実施し「共同実施」および「学校財務制度」について、他府県の実践等を学ぶ研修計画を考えています。広報部では、滋事研機関紙「さざなみ」とメールマガジンの発行、ホームページの更新を行い、会員にタイムリーな情報提供を行います。事務局では、職務をサポートする様々な情報の整理と、既存の「学校事務ハンドブック」「学校事務マニュアル」を統合し、より使いやすいものを作り上げていきます。

また、今年度より、「学校事務共同実施実践研究助成事業」を設け、共同実施に関する実践研究を推進する都市研究会に助成を行い、共同実施実践地域を広げていくことにも取り組んでいます。

また、研究大会は下記の日程で開催予定です。

1. 期 日 平成20年12月5日（金）
2. 会 場 ピアザ淡海（滋賀県立県民交流センター）およびコラボしが

#### 3. 内 容

##### ◆午前の部

全体会 文部科学省行政説明・講演

##### ◆午後の部

分科会 湖東ブロック（近江八幡市・東近江市・蒲生郡）



### 大阪府公立学校事務研究会

本年度は、これまでの本会の研究成果を踏まえながら、「効果的・効率的な事務処理、学校経営の中核へ」「学校裁量権拡大への対応」「地域連携を推進する渉外調整機能」「情報公開への対応」などをキーワードに、「より良い学校運営組織のあるべき姿」「学校における学校事務職員のあるべき姿」を、今までとは違った角度や新しい観点での研究に重点を置き活動します。

第17回府事研研究大会を以下のように開催します。多数の参加をお待ちしています。

開催日 平成20年11月7日（金）  
会 場 エルおおさか（大阪府立労働センター）  
内 容

- ・記念講演  
演題 未定  
講師 神戸大学発達科学部 山下晃一准教授
- ・行政説明 文部科学省
- ・分科会  
第1分科会 本会広報部研究報告  
第2分科会 府事研北河内地区発表実行委員会研究報告

### 京都市立学校事務研究会

京都市においては市民ぐるみ、地域ぐるみの教育を進め、情報・課題、行動、評価を共有し、学校が核になり教育のさらなる充実を目指しています。

新しい時代の学校事務職員を創造するため、地域に果たす役割を見いだすとともに、各学校での教育課程編成の基準となる学習指導要領を理解し、基本的理念である「生きる力」や教育内容を十分理解しておく必要があります。事務職員は子どもの豊かな育ちのため、教育の環境整備、条件整備に責任を持って当たることはもとより学校経営に欠かせない存在になることが重要です。

今年度は京都市立学校事務研究会が60周年を

迎え「よりよき学校教育はよりよき学校事務から」のもとに先人が歩んできた理念を継承し、新たな時代に即応する学校事務職員を創造し、今後の研究会活動を見据えた研究を推進します。

#### 今年度の研究方針

- 1 学校経営に主体的に参画する事務職員を目指す研究
- 2 職務内容の標準化と「職の指定」を目指す研究
- 3 学校組織のシステム化、学校事務の効率化を図るなど、情報ネットワークの構築
- 4 学校事務の実践に向けた取組の充実

また、下記の日程で研究大会を開催します。今年度は60周年記念大会でこれまでの研究の成果を振り返っていきます。

平成20年度京都市立学校事務研究大会  
日時 平成21年2月4日(水)  
場所 京都市総合教育センター

#### 神戸市立小中学校事務職員研究会

神戸市立小中学校事務職員研究会は、「神戸市立小学校事務研究会」と「神戸市立中学校事務職員会」で構成されており、日常の活動は個々に行っています。

神戸市立小学校事務研究会は、神戸市の教育努力目標に即して学校教育を推進するため、学校事務の改善・改革に取り組んでいます。20年度は、提案し実践する学校事務職員を目指し、会員一人一人の事務力を高める実践を支援するとともに、学校経営の中核を担えるようマネジメント能力を高める研究・研修活動を推進します。また、研究会活動の基盤である、行政区ごとに行っている区会活動のさらなる活性化を図り、区会活動で得られた多くの成果を共有し、学校事務の適正化と効率化を目指します。

2月27日(金)には、神戸市総合教育センターで研究大会を開催し、研究委員会による研究発表ならびに分科会での討議を行います。

(小学校ホームページ)

<http://www.kobe-c.ed.jp/jimu-es/>

神戸市立中学校事務職員会は、「学校事務の円滑なる運営を期し、神戸市中学校教育の推進に寄

与する」ことを目的とし、会員84名、準会員約20名で活動します。

定例の活動として、毎年5月下旬に定期総会を行い、活動報告・計画・役員改選・会計の収支決算及び予算に関する事項等を決議し、企画委員会・役員会は、毎月1回本会活動の企画・運営について審議しています。また、全会員の活動として、9行政区ごとの区会で当面の課題解決及び情報交換を行います。研究研修活動の推進として、研究委員会並びに、研修部はそれぞれにテーマを設定し活動します。また、全事研・近事研への参画、神戸市立小学校事務研究会との連携も行います。広報部は月1回の「事務職員会だより」と機関誌「明星」を発行します。

以上のような内容で、会員相互の親睦を図りながら、明るく楽しい活動ができるよう取り組んでいます。

(中学校ホームページ)

<http://www.kobe-c.ed.jp/jimu-ms/>

#### 奈良県公立小中学校事務研究会

学校や教職員に求められるものが時代とともに変わる中で、学校事務もそのあり方の転換が求められています。

そこで、次の3点を具体的目標と定め、様々な事業を通して研究主題「新しい時代における学校事務の確立」に迫っていきます。

- 1 事務部組織の確立を目指す  
(学校の中での組織化)
  - ・事務部の確立
  - ・事務(部)経営案の作成
  - ・事務部組織マネジメント
- 2 学校間の連携を推進する  
(地域の中での組織化)
  - ・複数事務職員によるチェック機能
  - ・常態としてのOJTの実現
  - ・提供するサービスの質の均質化
  - ・強みを生かした仕事
- 3 情報をマネジメントする  
(信頼関係の構築)
  - ・情報の収集・整理・提供
  - ・保護者・地域との連携

活動の柱を「支部活動の充実と交流」「専門部

活動の充実」とし、研究部では研究主題に向け調査研究を進めています。本年度は、昨年度から引き続き取り組んでいる「総合マネジメントのできる事務職員」を目指した研究内容について研究大会において提案をします。また広報部では、機関紙「もにゅめんたる」の発行と「学校事務の手引き」の編纂を行います。

そして、主な事業として、研究大会、研修会、新規採用事務職員フォローアップ事業、校長会・教頭会・事務研究会合同会議を計画しています。

#### 【研究大会の開催】

第35回 奈良県公立小中学校事務研究大会

大会テーマ 「拓こう！明日の教育を担う学校事務を」

期 日 平成20年12月12日(金)

内 容 全体会(午前：講演会、午後：県事  
研研究部)

### 和歌山県小中学校事務研究協議会

和歌山では「望ましい新時代の学校事務を求めて」～学校や地域に根ざした事務実践を求めて～を主題に事業を進めています。

主な活動として、平成20年度和歌山県小中学校事務研究大会が平成20年5月22日～23日に白浜町のラフォーレ南紀白浜で開催しました。22日は県教育委員会より「きのくに共有コミュニティについて」の講義を受け、講演では神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授の山下晃一先生の「外から見た和歌山の教育と学校事務への期待」をテーマにお話しして頂きました。また、23日には7つの分科会に分かれ実務研修や活発な意見交流が行われました。

また、広報活動として機関誌「てまり」の発行を中心に進めています。発行数は、年間4回+aで支部活動の内容などを紹介しています。

さらに、今年度は平成20年8月22日に開催される「第9回近畿地区近畿公立小中学校事務研究大会」の成功に向けて仕上げています。

和歌山では、私たち事務職員が主体となり、和歌山の学校教育の実態に合った和歌山らしい学校事務が実現できるよう、一人ひとりが日々の実践でスキルアップを目指し、会員それぞれが協力し合いながら、研究会活動を通じて自主的に研修していきます。

## 調査研究部 活動報告

全事研福島大会第4分科会で発表する私たち調査研究部は、「私にもできる！自己改革のススメ」～提案型事務職員への道も一歩から～をテーマに、自己の気づきや仕事に対する意識を大切に実践・研究を進めてきました。

既にお知らせしていますように、今回は理論研究や実践結果の発表ではなく、事務職員一人ひとりの意識改革がテーマです。スクールガイドや事務室経営案などを一つのツールと捉え、それぞれの職場で提案から実施・定着に向けた取り組みの紆余曲折をお聞きいただく中で、調査研究部員の「元気」や「私にもできるかな」をお持ち帰りいただければと思っています。

また、助言者として 京都産業大学文化学部 西川信廣教授、プール学院大学国際文化学部 佃繁准教授、吹田市教育委員会 大田正義指導課長の3名をお迎えし、講演やパネルディスカッションを通してそれぞれの立場からご指導をいただく予定にしています。

東北地方で“近畿の元気”を全国に向けて発信してきます。ご声援ください！

### 40周年記念 全国公立小中学校事務研究大会 (福島大会)

「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」

—安全と信頼、あんしんを学校事務から—

特集テーマ

～情報管理と危機管理、学校事務～

期日 平成20年8月6日(水)～8月8日(金)

会場 ビッグパレットふくしま 他

【2日目】

第4分科会

(近畿地区) 近事研担当

「私にもできる！ 自己改革のススメ」

—提案型事務職員への道も一歩から—

会 場 ビッグパレットふくしま

コンベンションホールA

第4分科会を調査研究部が担当します。  
ご期待ください！！